

第3回(仮称)お花茶屋地区屋内温水プール整備における地域説明会

令和7年3月

目次

1. 第2回説明会の振り返り
2. 基本設計素案
3. これまでいただいた主なご意見と施設整備の考え方
4. 今後のスケジュール（予定）

1. 第2回説明会の振り返り

2. 基本設計素案

■建物概要

建物名称

(仮称) お花茶屋地区屋内温水プール

床面積

1階 約1,620m²

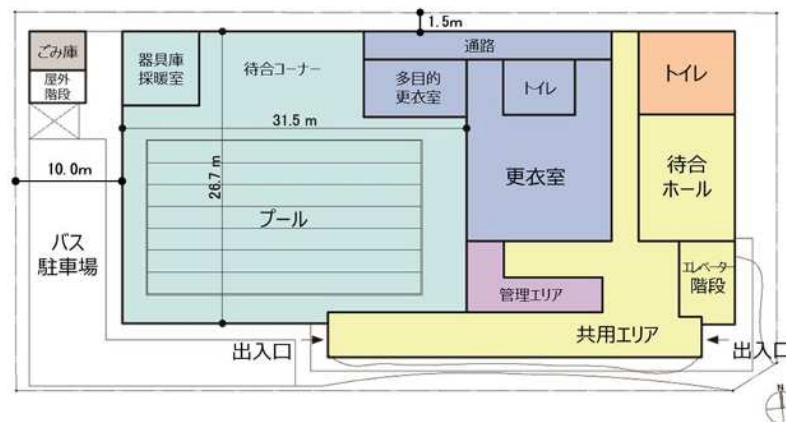
2階 約1,100m²

R階 約1,100m²

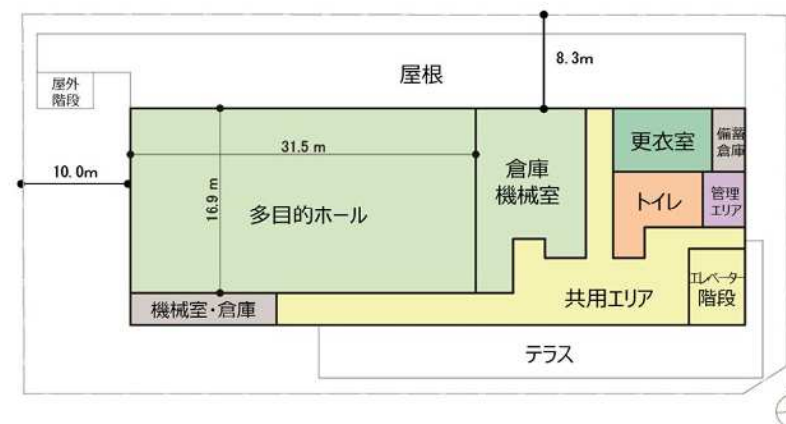
地下階 約320m²

※地下階は、プール関連機器の設置を予定

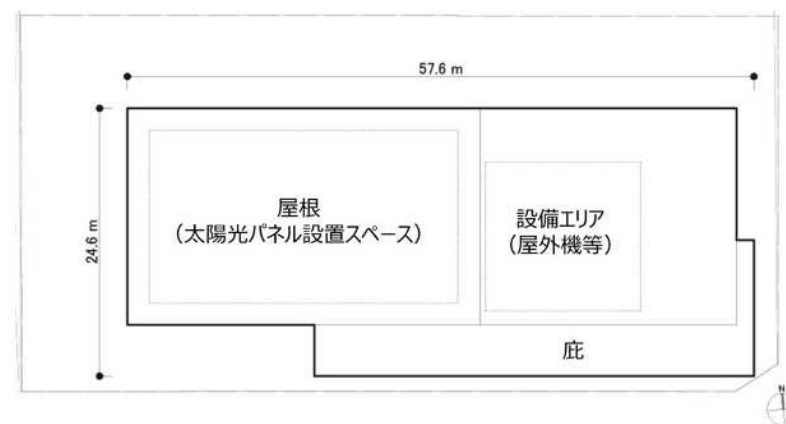
1階



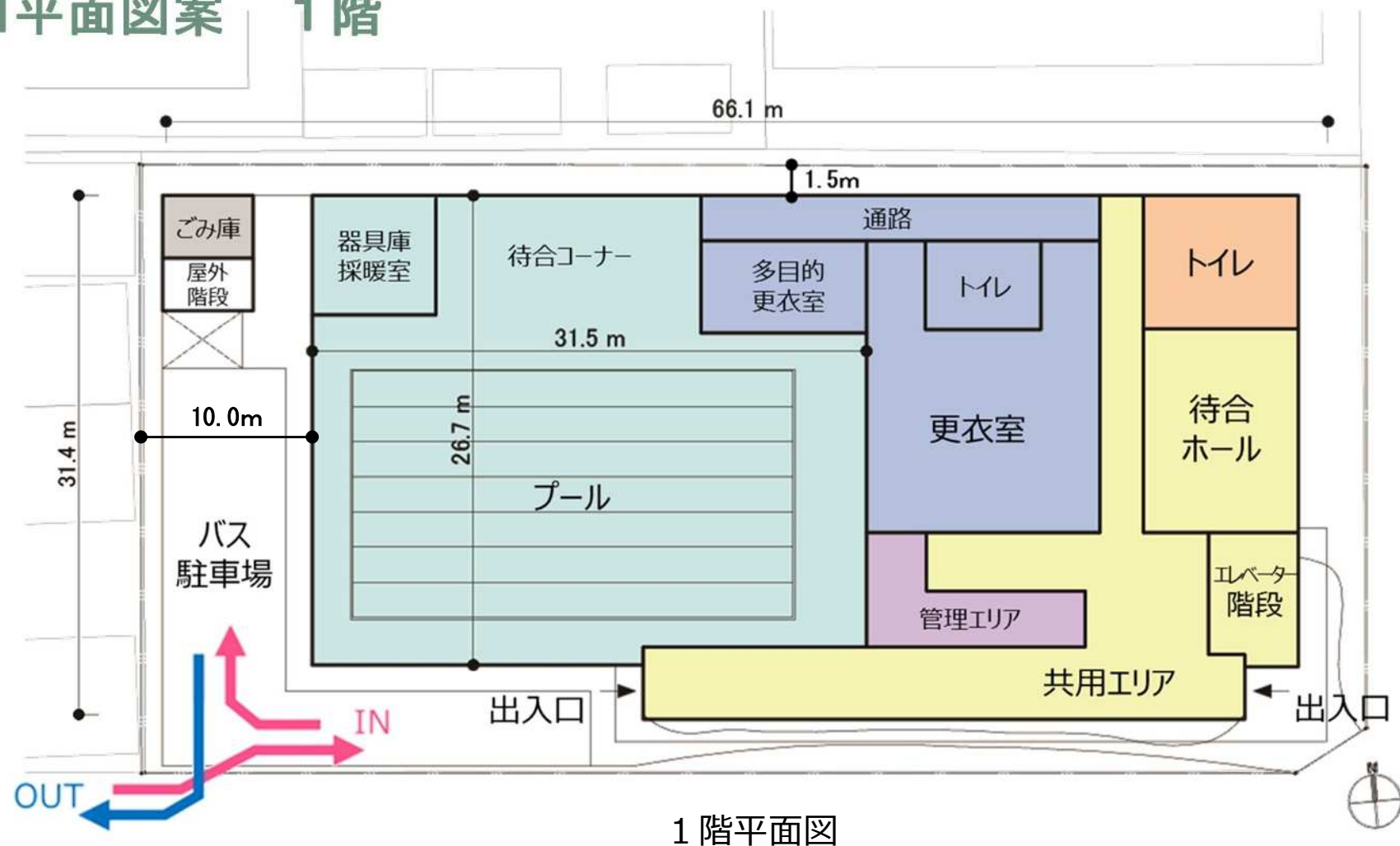
2階



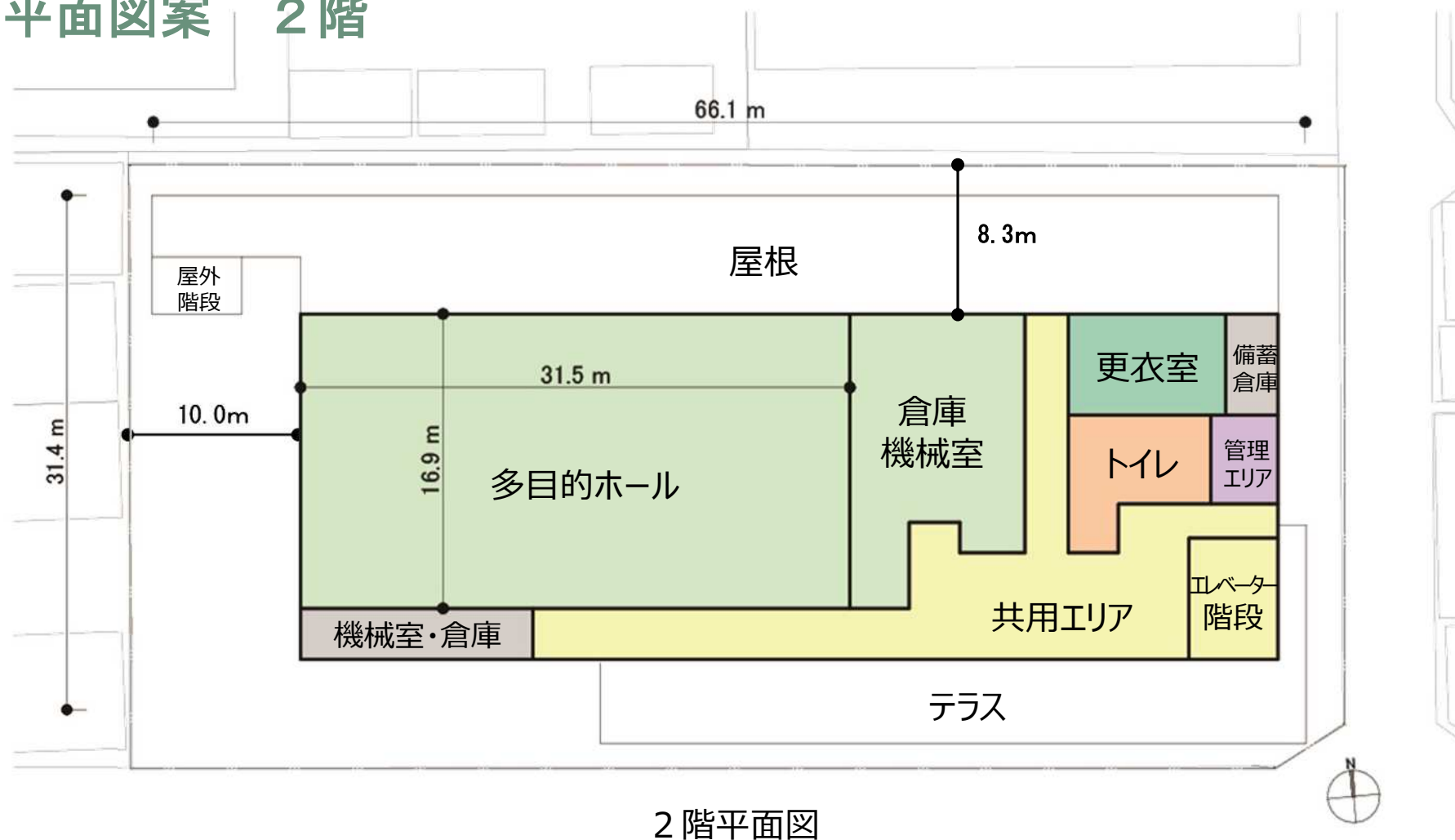
R階



■ 平面図案 1 階



■ 平面図案 2 階



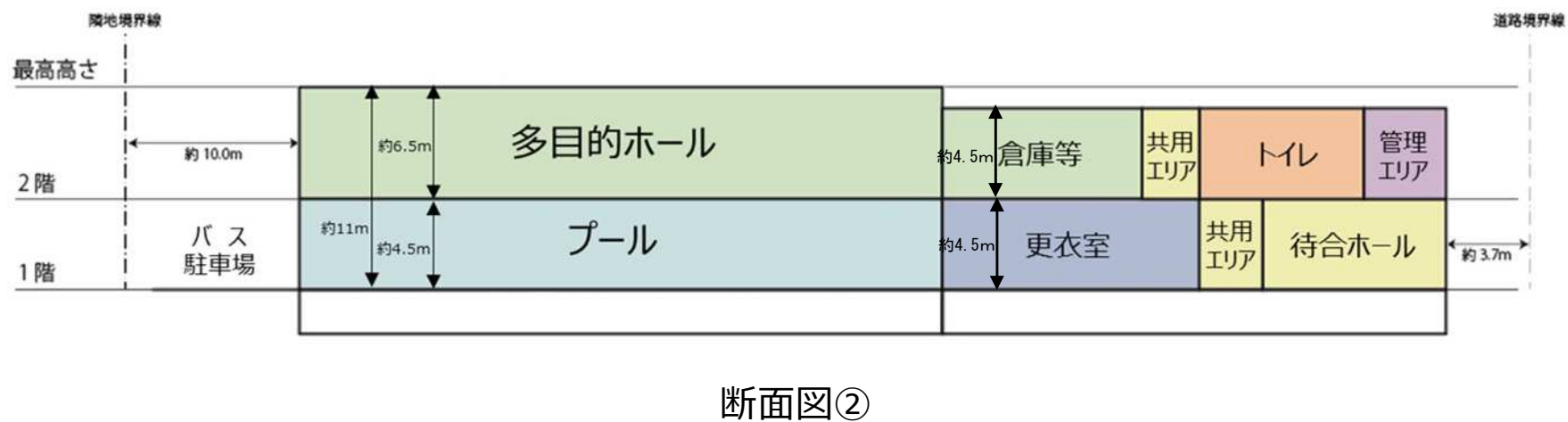
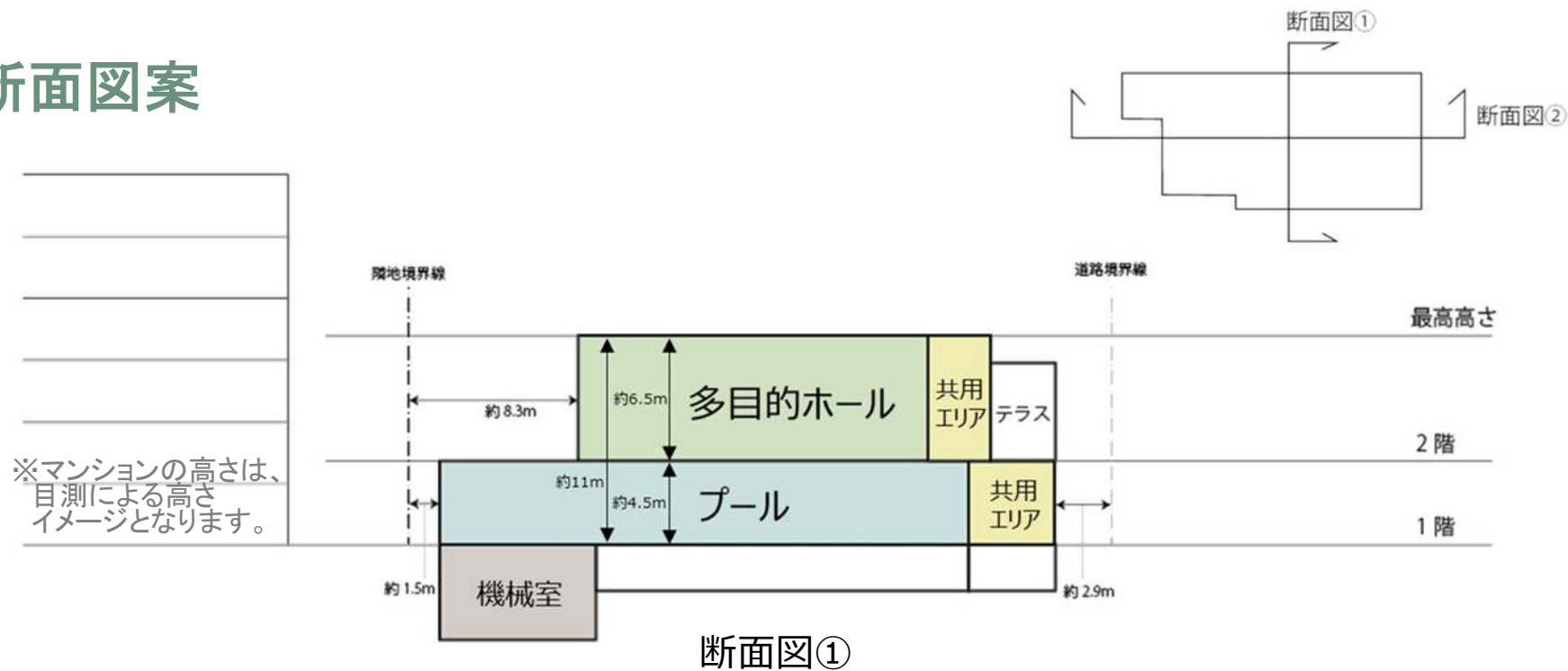
2 階平面図

■ 平面図案 R階



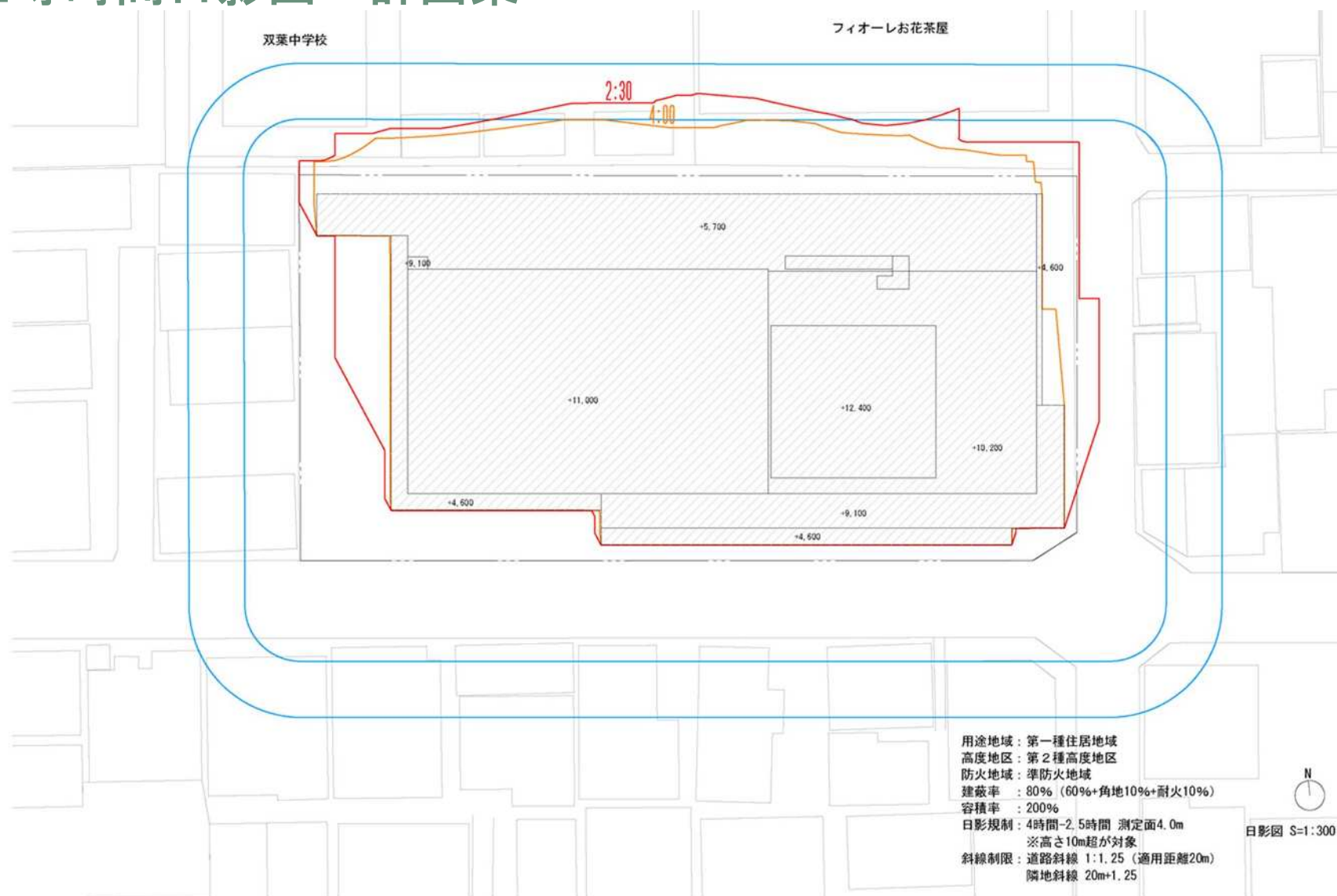
屋上平面図

■ 断面図案

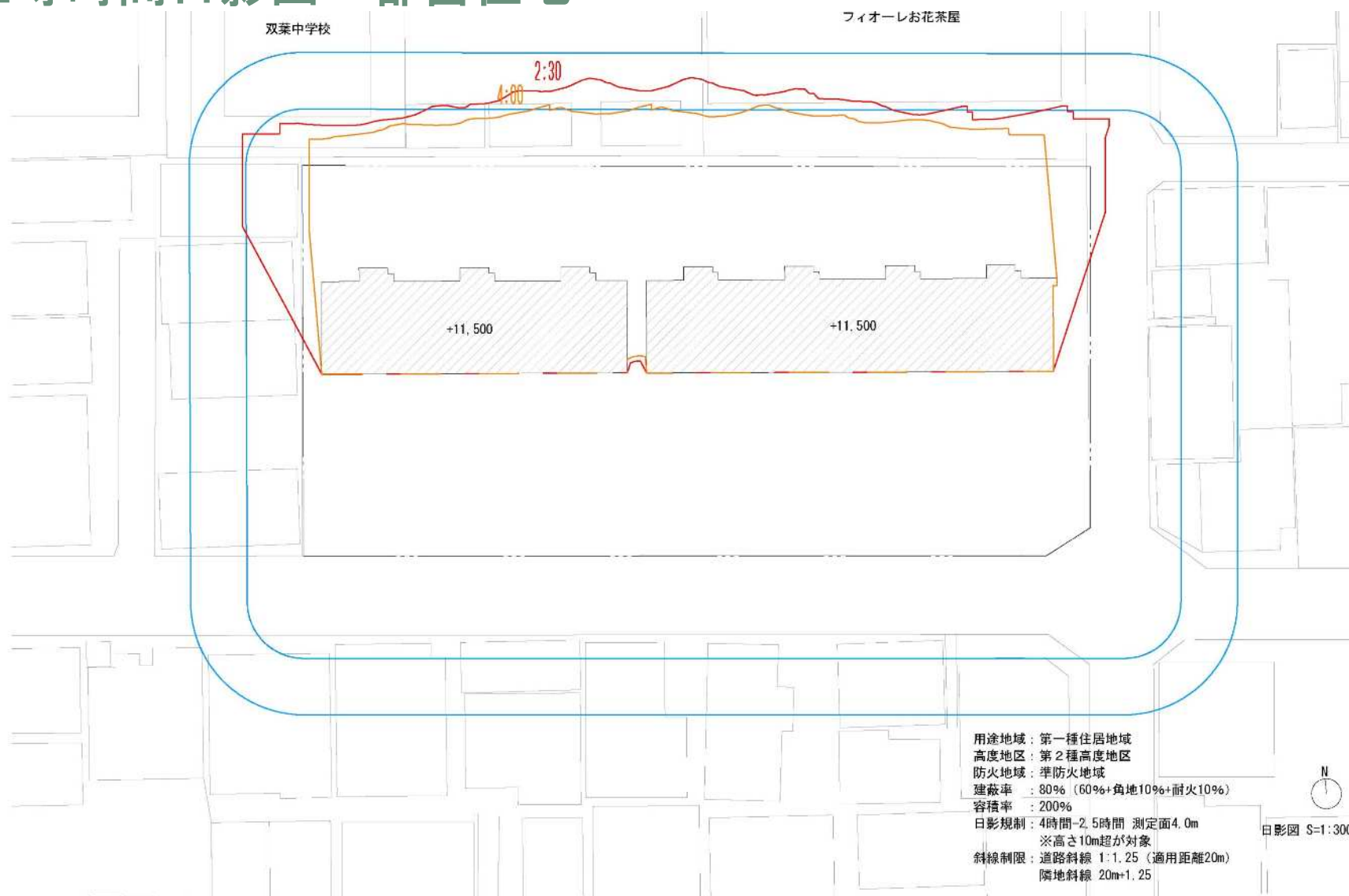


3. これまでいただいた主なご意見と施設整備の考え方

■等時間日影図 計画案

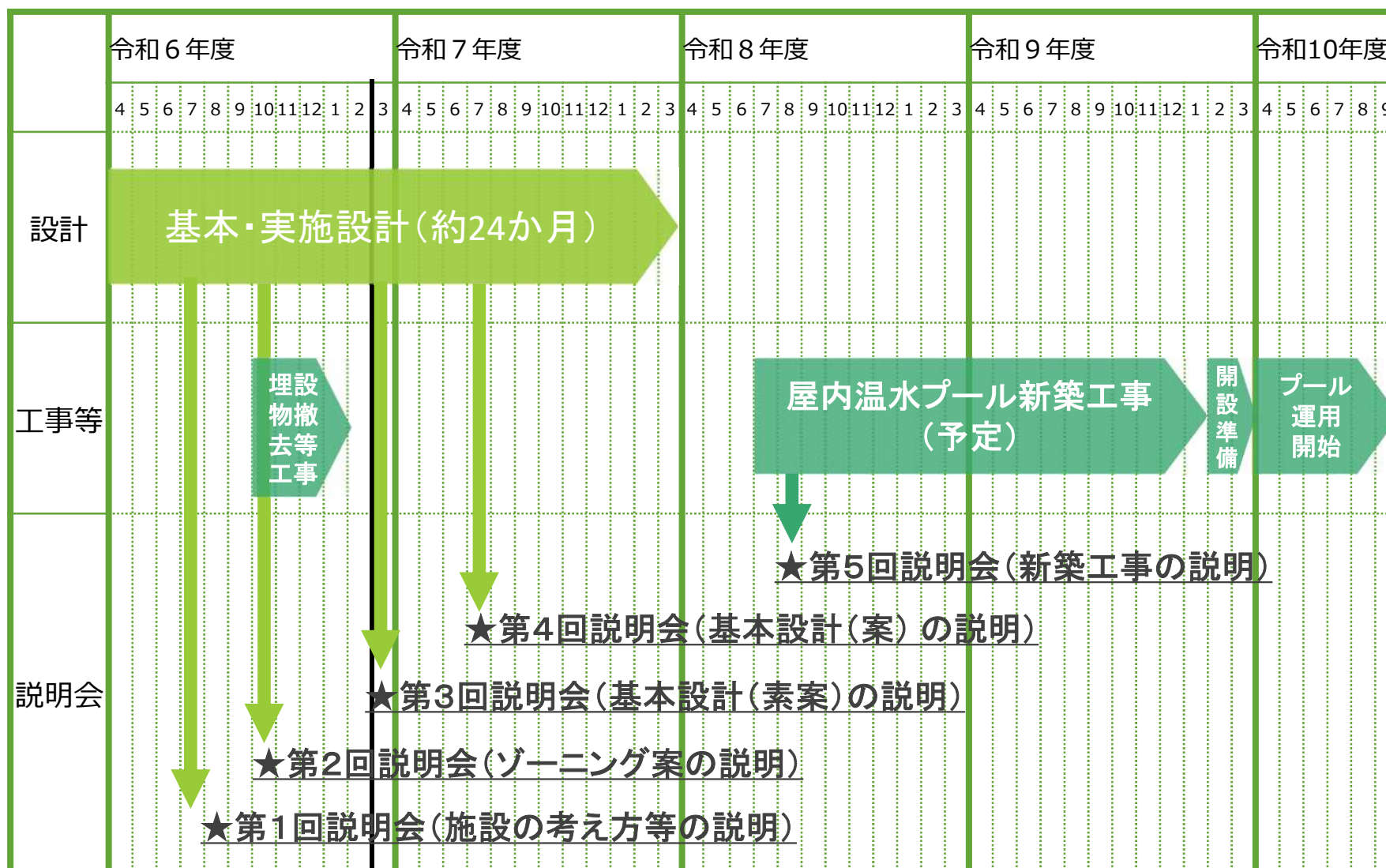


■等時間日影図 都営住宅



4. 今後のスケジュール(予定)

■今後のスケジュール（予定）



※説明会実施回数及び工事期間、運用開始時期等については、変更する場合がございます。

これまでいただいた主なご意見と施設整備の考え方

No.	主なご意見	施設整備の考え方
1	一般利用時の駐車や駐輪スペースについて	学校利用時、バス駐車場となる場所に一般利用時は 100 台程度が駐輪できるスペースとする予定です。 なお、駐車スペースはないため、公共交通機関や自転車等で来場いただくよう周知していきます。
2	隣接する住宅への圧迫感軽減やプライバシー等の配慮について	計画建物と敷地境界までは、北側は約 1.5m、西側は約 10m の離隔距離を確保し、また、北側の 2 階部分については、1 階よりさらに建物を後退させ、8.3m を確保することで、圧迫感を極力軽減いたします。 また、プライバシーの配慮として、北側の住宅と隣接している場所には可能な限り開口部（窓等）を設けない計画とします。 また、西側の開口部（窓等）については、不透明のフィルム貼り等で利用者と目線が合わないような設えとしていきます。 その他、壁面カラーは、景観に配慮したデザインとすることを前提に設計を進めています。
3	機械設備による騒音対策について	機械設備は、近隣への影響に配慮し、地上ではなく地階や屋上に計画するとともに、屋上に設置する機械設備の周辺には防音パネルを設けます。

4	太陽光パネルの設置について	区では、「ゼロエミッションかつしか」を宣言し、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」において、公共施設の新築の際には、ZEB※の標準化を進めることとしているため、その考えに基づき、本施設においても太陽光パネルを設置していきたいと考えております。 また、蓄電池も設置することで、災害時の2次的な電源としての活用もしていきたいと考えております。 安全性については、火災や飛散による被害が生じないよう、万が一の出火による燃え広がりを防ぐため、屋根を不燃材にします。また、台風などの強風にも耐えられる安全規格に適合した、適切な予防対策を講じることで、安全の確保に努めてまいります。 ※Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略 建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる建築物
5	日照への影響について	日照については、法規制を遵守し、かつ、本計画地に以前建っていた都営住宅の日影と同程度となるように設計を行っております。（詳細、別図のとおり）